

信長探訪倶楽部 9月行事 比叡山焼き討ち 延暦寺から坂本城跡へ

5月行事の「姉川の戦い」のあと、夏の暑さやその後の雨続きで、「比叡山焼き討ち」の行事がのびのびとなり、ようやく9月行事として実施することができました。

姉川の戦い後、三好三人衆の挙兵、石山本願寺の蜂起のため、信長は摂津戦線に釘付け、この間に浅井、朝倉軍が京に向け出陣、世にいう「志賀の陣」の始まりであった。

坂本の宇佐山城攻めでは、浅井、朝倉軍に延暦寺僧兵も攻め手に加わり信長弟討ち死に。このまま京に向かう動きを知った信長は摂津戦線から撤退、急遽京へ戻った。それを知った浅井、朝倉軍は比叡山へ後退したので、信長は比叡山を包囲した。そこで信長は比叡山に対して「織田につくか、無理なら中立を守れ、浅井、朝倉につくなら焼き討ちにする」と通告した。

この間に三好氏、六角氏、本願寺との戦いがあり、手が回らなくなった信長軍は長島門徒の攻撃を受けた信長弟を助けに行くこともできず、討ち死にさせてしまう。比叡山包囲2か月半になろうとするころ、信長は朝廷と義昭を動かし講和を画策、朝倉軍も豪雪になる前に帰国を望んだため、ここに講和が成立した。この戦いで弟や有力武将を失った信長は、通告を無視して浅井、朝倉方についた比叡山を焼き討ちすることになった。

比叡山焼き討ち後、この地の守りに明智光秀が任命され、水城と呼ばれた坂本城築城に精を出すことになった。

今回は、「朝倉・浅井攻め」と題して、一乗谷朝倉館～小谷城を訪ねます。案内を楠交流会館に貼り出しますので、ご覧ください。



信長探訪倶楽部9月行事は、比叡山延暦寺およびふもとの坂本の現地訪問です。延暦寺駐車場に到着。これより根本中堂に向かっていきます。雨の中の参観です





延暦寺からふもとの坂本に移動し、坂本を代表する観光地「滋賀院門跡」を見学



坂本は見るところが多いのですが、滋賀院門跡での熱心な意見交換に時間を取られ、最後の見学地「坂本城跡」に慌てて駆けつけました。町中に坂本城跡の石碑がありました。坂本城図面からするとここは外堀に近い感じです



本能寺の変に至る明智光秀の思いについては、お昼を食べた蕎麦屋「本家鶴喜そば」で喧々諤々話が盛り上がりましたが、光秀の居城跡ではみな神妙です



目の前に湖畔の広がる琵琶湖岸にある明智光秀の記念公園です。坂本城本丸跡から少し離れたところに作られています。隣に光秀を歌った歌碑もあります。なんと歌手は鳥羽一郎とありました。皆さん、ご存知でしたか？